

# 日本パペットセラピー学会第15回大会 大会長ご挨拶

テーマ：「パペット、手に取ってみようよ！」

日時：2021年11月14日（日）及び21日（日）  
（Zoomによるオンライン開催）

大会長：出山 雅章

（小学校教諭 公認心理師 認定パペットセラピスト）

副大会長 岡 信行

（ソックスパペット工房・バンブリーナ主宰 認定パペットセラピスト）



2021年度日本パペットセラピー学会大会は、11月の14日（日）、11月21日（日）の2日間にわたって、前回大会に続き、リモートで開催することになりました。

パペット（腹話術）はパフォーマンスとして、また、ボランティアや安全教育などでもずいぶん昔から取り入れられ、みんなに愛され、親しまれています。テレビのCMでもよくタレントがパペットを手をしているところが映し出されています。老若男女みんなパペットが大好きです。パペットの楽しさはみんなに知ってもらっているのです。

でも、残念ながら「自分もやってみよう」とパペットを手を取る人はあまり多くありません。教育、保育、福祉、心理などの分野での活用もそれほど広がりを見せていません。それをとても残念に感じてきました。

その要因の1つは、腹話術としての技術が難しすぎると感じている人が多いということがあると思います。それで二の足を踏んでしまっていると思うのです。

それにもう一つ、「面白い」「楽しい」「かわいい」ということ以上のパペットの力、有用性、人の心に働きかける力といったものが理解されていないのではないかと思われるのです。

今回の大会では、会員以外の方にもできるだけ参加していただき、まずはパペットに触れて「やってみればできるんだ」ということを体験してもらえたらと思います。また、子どもたちやお年寄りなどにいろいろな働きかけ、心へのアプローチができるパペットセラピーの素晴らしさを知ってもらいたいとも考えています。そして会員の方には、パペットセラピーやパペットを使った活動の幅を広げるヒントとが何か見つけられるような大会になればと思っています。

そんな願いを込めて「パペット、手に取ってみようよ！」というテーマにしました。

大会では、ボランティアで日本中、海外まで公演して回ったプロ腹話術師しろたにまもるさんの講演、研究発表の他、パペットのレッスンやパペットを使って参加者が交流する時間もあり、学び、そして体験できるプログラムとなっています。

皆さんとともに、実りある大会にしていきたいと思います。